

今回は1月の「家庭読書の日」の感想を紹介します！

南郷小学校 令和7年2月

毎月23日は「いしかわ学校読書の日」加賀市の「市民の読書の日」です。それに合わせた「家庭読書の日」の取り組みにご協力いただきありがとうございます。

1年

児童

読んだ本「どっちがどっち」

かたちはおなじだけど、ちがうものだってわかっておもしろかったです

児童

読んだ本「とらねことおしょうさん」

びんぼうなおしょうさんが、ねこにおしえてもらったおきょうのおかげで、大金もちになったのがすごかったです。

保護者

読んだ本「ねむりのはなし」

ねむることの大切さ、ねむらないとどうなるかについて、わかりやすく知ることができたと思います。

2年

児童

読んだ本「かわいいのルール」

ファッションルールがマスターできたり、しよくじや会話のマナーがみについて、かわいくなるじしんがついてきました。

読んだ本「ね、ぼくのともだちになって」

児童

ずっと下の、みどりのじめんが見えているのだと思ってたら、ぜんぶのページにへびさんがいてびっくりしました。

保護者

1ページめくるごとに、1匹ずつ動物が出てきて、次に出てくる動物のしっぽだけが見える、エリックさんらしいワクワクする絵本でした。

3年



児童

読んだ本「ルルとララのティラミス」

わたしは、ルルとララの本がすきで、一番すきなのが、ルルとララのティラミスです。なぜかという、レシピがすみからすみまで書いてあるからです。

児童

読んだ本「はじめてのおつかい」

わたしもみいちゃんみたいに、一人で買いものにいきたいと思いました。

児童

読んだ本「はなくそにんじゃ」

はなみずは、体に大切だなと思いました。

4年



児童

読んだ本「だいすきな先生へ」

小さい時は先生が色々な事をしてくれたけど、大人になったら、次は先生になる番という気持ちがとても強かったので、びっくりしました。

児童

読んだ本「すきなことにがてなこと」

自分にもすきなことやにがてなこともあるし、家族や友達にもすきなことやにがてなことがあるとわかりました。

5年

児童

読んだ本「いーはとあーは」

「あー」と「いー」では見えるところが変わると分かりました。わたしは大人の歯も子どもの歯もあるので、どちらの歯も大事にして、ていねいにやさしくみがいて「虫歯なし！」にしていきたいです。

児童

読んだ本「くらべっこのじかん」

なんでもくらべたらいいじめになるとわかりました。わたしもだれかとくらべないようにしたいです。

6年



児童

読んだ本「川のいのち」

生き物のいのちは知っているけど、田んぼのように自分の身の回りのものもいのちがあると考えたら、わたしたちも同じなんだなあと思いました。

児童

読んだ本「川のいのち」

川があれば、変わらない様子が川のいのちなのかと思いました。また川は、たくさんの生活の場所になるいのちを育む場所かと思いました。

児童

読んだ本「木にいのち」

どんどん世代が変わっていくにつれ、環境悪化などがあつたけど、がんばって生きている木の存在がやっぱり大きいなど、本を読んで思いました。とてもすてきなお話でした。